

第 42 回日本 Tip edge 矯正研究会東京大会

症例展示についてのご案内

今回の東京大会におきまして、会員の症例展示を募集致します。

会員 1 人につき 3 症例まで、不正咬合の種類、治療法について制限はありませんが一部でも Tip edge 装置を使用した症例で、動的治療終了時に永久歯咬合のものに限ります。今回は展示の資料は各自の自由な形式で展示していただきますが、認定医の取得を目指しておられる会員は Tip edge 装置を使用し規定に従って保定 2 年を経過した症例を展示ください。

展示を希望される方は、症例展示申込書に記入し、展示担当犬伏まで FAX 0 7 2-2 3 2-4 0 3 6 にて申込み下さい。

展示日時および場所：

8 月 31 日（日）9 時 15 分より KABUTO ONE HALL&CONFERENCE の JTSO 症例展示会場にて展示していただきます。

ファイルは黒の表紙で 40 ポケットのクリアファイルを使用し表紙の上部に症例展示番号とタイトルを、また、中部に所属と氏名を表紙の下部に症例の概要について記入してください。

展示資料：資料は複製したものを展示して下さい。

（今回は資料の展示に特に制限はありませんが、認定医のための症例展示は以下の資料の展示方法を参考にしてください）

1. 症例の概略（初診時、動的治療終了時および保定時）
2. 写真（顔面・口腔内、プリント使用）
3. 模型（平行模型・顎態模型・マウント模型）
 - ・前面に初診は黒、治療途中は青、動的治療終了時は赤、
保定時は保定 1 年緑、保定 2 年 橙のシールをはる（保定 2 年後のみでも可）
 - ・咬合がわかりにくいときはバイトチェック・バイトブロックをもちいる
4. X 線写真（パノラマ・デンタル・セファロ等）
 - ・セファロはトレースをそえる（分離できるようにする）

Land mark 周辺の解剖学的構造のほか、次のものもトレースして下さい。

- I) 前頭部から頸部に至る顔面の軟組織外形線
- II) 上下顎中切歯および第一大臼歯

Ⅲ) 前鼻棘、後鼻棘を含めた上顎骨外形線

Ⅳ) 下顎骨の外形線

- ・各時期に応じて模型のシールと同じ色でトレースする
- ・各時期のセファロの全体の重ね合わせする

5. 資料は A4 クリアファイルに入れて演題名を明確に記す。

資料は年齢と治療段階を明記する、資料は複製したものを提出する。

(認定医のための症例展示は保定終了時の資料が必要)。なお、治療経過を示す資料がある場合には加えて下さい。それぞれの資料には資料採取の年月日を記入して下さい。

(今回、会員名は資料に明記するようにして下さい。)

- | | |
|-------|---|
| 1 ページ | 題名・症例展示番号 |
| 2 | 初診時の既往歴・現病歴・問診事項など |
| 3 | 診断および治療計画 |
| 4 | 治療経過の説明(データでの説明) |
| 5 | 顔面写真(治療前・治療中・治療後・保定時の正貌・側貌・スマイルなどを一枚の台紙に貼って下さい) |
| 6・7・8 | 口腔内写真(治療前・治療中・治療後・保定時の正面・左右側面・上下咬合面・Overjet, Overbiteなどを一枚の台紙に貼って下さい) 上部に歯数・歯式の状態を記入する。 |

(治療段階に応じたページ数を使用)

- | | |
|---------|------------------------------------|
| 9・10・11 | デンタルX線写真・パノラマX線写真(治療前・治療中・治療後・保定時) |
|---------|------------------------------------|

(治療段階に応じたページ数を使用)

- | | |
|----------|---|
| 12・13・14 | 初診時のセファロとトレース (Lateral・P-A)
治療中のセファロとトレース (Lateral・P-A)
動的治療終了時のセファロとトレース (Lateral・P-A)
保定終了時のセファロとトレース (Lateral・P-A)
(治療段階に応じたページ数を使用) |
| 15 | トレースの重ね合わせ全体図 |
| 16 | トレースの重ね合わせ上顎・下顎セファロの重ね合わせ |

(*重ね合わせ Superimpose について)

セファロの各治療段階のトレースに使用した色を用いて下さい。

- 1) 成長と治療による全体的な変化を見るため、**Sella** を原点とし **S - N plane** を基準に重ね合わせたもの。
- 2) 上顎骨での変化をみるため、ANS を原点として Palatal plane を基準に重ね合わせたもの。
- 3) 下顎骨での変化をみるため、Menton を原点として、mandibular plane を基準に重ね合わせたもの。

重ね合わせ図の左下に症例番号・各治療段階とその年齢（歳・カ月）を書いて下さい。

- 17 顎関節や手根骨の X線写真などのオプションがあれば、その後に入れて下さい。

最終ページは治療に対する評価をまとめてください。

(注)セファロ分析については Tip-Edge での分析に用いるデータを記入してください。

診断と治療方針および JTSO 症例展示データシートに記入して展示して下さい。

展示資料については、展示中は JTSO 事務局の方で十分注意をして管理しますが展示前後は会員各自の責任において管理してください。

展示模型は必ず複製を使用してください壊れる可能性があります。

なお、データ表や分析表については後ほどお送り致しますが、JTSO のホームページからダウンロードも可能です。

ご相談は症例展示担当犬伏 TEL 09050554129 までご連絡ください。

認定委員会委員長 犬伏俊嗣